

■ 歩道改修・利活用イメージを具体化するため、「スケッチワークショップ」を開催しました！



第4回マイアミ通りまちづくり協議会

- 日時 2024年8月27日(火) 18:00~20:00
- 場所 カフェむにみい
- プログラム
 1. 前回の振り返り
 2. 渡先生から事前質問へのご回答
 3. 基本計画の検討状況(情報共有)
 4. 歩道改修・利活用イメージの具体化・共有「スケッチワークショップ」
 5. **マイアミフェスタの検討**
 6. 周辺まちづくりの状況について(情報共有)
 7. アンケート記入

第1回協議会に続き、渡和由先生(筑波大学大学院非常勤講師、法政大学デザイン工学研究科兼任講師)を講師としてお招きし、これまでの現地調査や検討のまとめとして、「スケッチワークショップ」を開催。マイアミ通りの歩道改修・利活用の検討を深めることができました。

検討の手順

Step1
聴く
・
見る

Step2
描く

Step3
共有
する

渡先生から、事前質問へのご回答後、屋外空間利活用の工夫などについても事例をもとに詳しく教えていただきました。鹿児島大学小山研究室からは「ハコ」のご紹介。

前回まで4つのエリアに分かれて検討してきましたが、今回は各自で「変化」をもたらしたいプレイス(改修候補地)を3か所まで自由に選んで、写真の横にイメージ画をスケッチしました。

皆さんの描いたスケッチを壁一面に張り出し、全員で眺め、共有しました。

渡先生から事前質問へのご回答

Q1: 鹿児島には降灰・高温問題がある中で、アウトドアを活用するには？

A1: 自然との付き合い方として、降灰もポジティブに捉えて活かせるとよい。「居心地の良い場所」というのは、屋外だけで完結する必要はない。

例えば建物の内部や屋根など、涼める場所が近くにあると良い。

さらに、店のドアが開放されていたり、ガラスで室内外が見えるなど、出入りしやすい設えであると、屋外・屋内の空間が一体的に感じられ、行き来して過ごしやすくなる。



Q2: マイアミ通りらしい植栽選びのコツは？

A2: ヤシの木などの南国感のある植栽を、通りの端にゲートのような形状で整備すると良いのでは。

今ある街路樹も活かし、剪定方法を工夫して木陰の範囲を広げることも一案。歩道改修に並行して検討していくと良い。

Q3: 沿道建物との連携した、プレイスメイキング好事例は？

A2: センテラス天文館の広場が好例。歩道に連なるオープンな屋根付き広場と、涼みに駆けこめる施設が配置されている。

天文館のアーケード街も同様に、無料で座れたり、涼める場が多く、鹿児島ならではの降灰対策や、暑さをしのげるようにと整備されてきたものと思われる。身近な事例も参考になるのでは。

渡先生より、プレイスメイキングの考え方を 実践している屋外空間の紹介

屋外に可動式のイスを多く配置したり、歩道上に広い飲食スペースを確保した事例のほか、日本では昔から屋外で楽しく過ごす文化があったことを、江戸時代の茶屋や屋台などの絵をもとにご紹介いただきました。



鹿児島大学小山研究室より、 「ハコ」の紹介

西郷団地の「よりどりプロジェクト」で製作された可動式・組立て式のファニチャー、「ハコ」について、上原太陽さん（同研究室修士2年生）からご紹介いただきました。イスやテーブル、本棚など、組合せ次第で使い方は無限大！今年のマイアミフェスタで、屋外に設置してみる予定です。



■ 渡先生より、今後の検討に向けたアドバイス

今日のスケッチワークショップや、これまでの話し合いから出たキーワードを含め、協議会で多様なアイデアが生まれ、共有されていることが素晴らしい。どれが良いか優劣をつけるものではなく、実際にできること、できないことなど諸条件を考慮して採用していくことになる。今後、市が作る基本計画、基本設計のみならず、周辺のまちづくりを考える上でも、これらのデータを活用するとよい。

マイアミフェスタについても、皆さんのやってみたいことを試し、使う場や関わるひとを増やしなが、楽しく活動していくことが大切。活動の一部は周辺にも展開できる可能性あり。

全国的にも先進的な取組みとして、これからも注目、期待している。



■ マイアミフェスタの検討：11/24（日）開催決定！

昨年度の社会実験と同じく、多くのひとがマイアミ通りを歩くタイミングに実施した方が効果的という考えから、今年も「オーガニックフェスタ」（11/23～24@ウォーターフロントパーク）と同時開催することになりました。

【miami street museum（屋外でのアート体験企画）】、【出店】、【広報・その他】の3グループに分かれ、具体的な検討や調整を始めています。

■ 参加者の感想・意見 ー当日のアンケートよりー

≫ 渡先生のお話を聴いて

イス活用の事例など
色々な都市の写真が参考になった

この会の方向性を感じられた

「降灰」のイメージを
ポジティブに捉えてみるという発想が
新鮮だった

事例紹介で、「飲食する場」のそばに必ず「緑」があった。
マイアミ通りでも「緑」、植栽計画を考えるべきでは

≫ スケッチワークショップや全体を通じて

植栽を上部に設置するアイデアは、
立体的、視覚的空間が面白そう

スケッチを描きだすことで
皆さんとまちづくりのイメージを共有できて
おもしろかった

歩道改修・利活用について、
色々なアイデアが出てきているので
具体策が楽しみ

外の空間を活かした出店、にぎわい方を
少しずつでも実現したい。
マイアミ通りが出店でにぎわって欲しい！

■ 周辺まちづくりの状況について（情報共有）

・ 鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会

8月27日（火）開催の第2回会議に、マイアミ通りまちづくり協議会の会長が出席。

・ ポケットパーク設置社会実験「やどり木パーク」

9月14日（土）～23日（振休）、10月11日（金）～14日（祝）の全14日間、加治屋町と高見馬場の交差点歩道等で、歩行者が立ち寄りたくなる居心地の良い空間づくりを実施。



協議会は今年度、月1回程度開催する予定です。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

■ 協議会主体で、「マイアミフェスタ」の検討を日々、進めています！



第5回マイアミ通りまちづくり協議会

- 日時 2024年9月24日(火) 18:00～20:00
- 場所 鹿児島市役所東別館11階1101会議室

- プログラム
 1. 前回の振り返り
 2. **マイアミフェスタの検討**
 3. アンケート記入



第5回協議会では、「マイアミフェスタ」の検討状況を共有し、歩道・沿道敷地のどこに出店や展示を希望するか、イベント実施場所について意見を出し合い、案を決定しました。

11月24日(日)の開催に向けて、【MIAMI street museum】、【出店】、【広報・その他】の3グループごとに、引き続き準備を進めていきます。



昨年度と今年度の比較

| | R5年度 | R6年度 |
|-----|--|---|
| 概要 | 社会実験 【主催】鹿児島市 【企画・運営】マイアミ通りイベント住民協議会 【実施支援】UR都市機構 | 歩道活用イベント 【主催・企画・運営】マイアミ通りまちづくり協議会 【実施支援】鹿児島市・UR都市機構 |
| 開催日 | 2023/11/26(日)〈オーガニックフェスタ、照国ホコ天と同時開催〉 | 2024/11/24(日)〈オーガニックフェスタと同時開催〉 |
| 場所 | ・マイアミ通りの歩道 ・マイアミ通りの沿道敷地 ・旧港湾合庁前の車道(ホコ天化) | ・マイアミ通りの歩道 ・マイアミ通りの沿道敷地 ・沿道、周辺店舗などの屋内 |
| 企画 | ・出店(飲食物、雑貨など) ・体験(楽器演奏、ダンス、フラワーワークショップ、万華鏡作り) ・事前イベント(市民参加型かざり作り) ・クイズラリー | ・出店(飲食物、雑貨など) ・体験(フラワーワークショップ) ・ストリートミュージアム(展示・創作体験など) ・PLAY CITY! DAYS企画(謎解きイベントなど) |

来年度以降に向けた検討課題

イベント開催をはじめ、今後の協議会運営に当たり、①活動資金の確保と②地元主体の体制づくりについて考えるべき、とのご意見が出ました。マイアミフェスタ後に振り返りを行う際、改めて議題とします。

■ 参加者の感想・意見 ー当日のアンケートよりー

次回に向けて、実績づくりをしていきたいと思う

ミュージアム班として頑張りすぎず楽しく、将来につなげたい！

普段からマイアミ通りに愛着を持ってらっしゃる方々がアイデアを出し合い、開催しようとしている姿がステキだと感じた

皆さんのアイデアをもっと実現できるよう、市の資金支援をお願いしたい

たくさんの方に周知できるようにチラシ制作を頑張りたい！

今年は難しいが、来年はもっと協力したい！

協議会は今年度、月1回程度開催する予定です。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。